2016年7月8日

|  |
| --- |
| **新しい胃がん検診制度に関する意識調査を実施**  **「内視鏡検査に関する意識アンケート」結果**  **7月14日は内視鏡の日、今年で11回目** |

**オリンパス株式会社(社長：笹　宏行) は、「内視鏡検査に関する意識アンケート」の2016年調査結果を、オリンパス運営の健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム」で本日公開します。**

オリンパスは、内視鏡および内視鏡検査※1の理解促進を目的として、「内視鏡の日」※2に合わせて意識調査を毎年行っています。2016年に実施したアンケートでは、25,177人の方から回答がありました。内視鏡検査の専門医である山口先生に、本アンケート結果の分析および講評をしていただきます。

主なアンケート結果は以下の通りです。アンケート結果の詳細は、健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム」でご覧いただけます。

**●アンケート結果の特徴**

1. **胃がん検診を受ける場合、胃内視鏡検査の受診を選択する人は約6割**
2. **胃内視鏡検査の受診経験者では、胃内視鏡検査を選択する人は約8割**
3. **胃内視鏡検査を選択する最も多い理由は、「精密な検査ができると思うから」**

**●アンケート結果の特徴とその詳細**

1. **胃がん検診を受ける場合、胃内視鏡検査の受診を選択する人は約6割**

|  |  |
| --- | --- |
| **胃内視鏡検査** | 胃部X線検査 |
| **16,201人（64.3％）** | 8,976人（35.7％） |

1. **胃内視鏡検査の受診経験者では、胃内視鏡検査を選択する人は約8割**

|  |  |
| --- | --- |
| **胃内視鏡検査** | 胃部X線検査 |
| **9,098人（76.8％）** | 2,750人（23.2％） |

1. **胃内視鏡検査を選択する最も多い理由は、「精密な検査ができると思うから」**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **胃内視鏡検査** | 胃部X線検査 |
| 第1位 | **精密な検査ができると思ったから（13,731人/55.9％）** | 身体への負担が少なそうだから  （5,693人/40.6％） |
| 第2位 | 身体への負担が少なそうだから  （3,600人/14.7％） | 短時間で済みそうだから  （3,152人/22.5％） |

**●参考資料**

・最近、胃内視鏡検査を受けたことがある人ほど、胃内視鏡検査を選択する傾向に。

|  |  |
| --- | --- |
| 胃内視鏡検査の受診時期 | 胃内視鏡検査を選択する人 |
| 3年以内 | 5,495人（84.4％） |
| 10年以上前 | 1,145人（61.8％） |

・最近、上部内視鏡検査を受けたことがある人ほど、上部内視鏡検査は「つらくない」と思う傾向に。

|  |  |
| --- | --- |
| 上部内視鏡検査の受診時期 | 「つらくない」と回答した人 |
| 3年以内 | 3,438人（52.8％） |
| 10年以上前 | 558人（30.1％） |

※1内視鏡検査とは

上部内視鏡検査は、口や鼻から内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸の検査を行うものです。大腸内視鏡検査は、肛門から内視鏡を挿入し、大腸の検査を行います。

※2内視鏡の日とは

内視鏡医学のさらなる発展と普及を願い、（財）内視鏡医学研究振興財団が7月14日を「内視鏡の日」と制定しました。

7と14で「内視（ないし）」と読む語呂合わせから日付が決定され、2006年7月に日本記念日協会より認定を受けています。

**＜本件に関するお問い合わせ先＞**

●報道関係の方 ：　オリンパス株式会社　広報・IR部　丸山

TEL：03-3340-2174（直通）　FAX：03-6901-9680

●報道関係以外の方 ：　健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム」

http://www.onaka-kenko.com/

**●アンケート結果の分析・ご講評：**田坂記念クリニック　山口芳美先生（内視鏡専門医）

**「胃内視鏡検査で詳細に観察することで、精密な検査を」**

今年度から、新しい胃がん検診制度では、現在行われている胃部X線検査に加え、胃内視鏡検査も推奨されました。※3アンケートによると、「胃内視鏡検査」を選択する方が過半数を占め、内視鏡受診経験者では約8割が「胃内視鏡検査」を選択しています。その理由として多くの方が「精密な検査ができる」と回答されています。

皆さんのご回答どおり、内視鏡検査では、胃・腸内の粘膜表面を詳細に観察できるため、微小な病変の発見にたいへん優れています。今回の胃がん検診制度の改正により、胃内視鏡検査をより身近に受診できる機会が今後増えていくものと思います。胃がん、大腸がんともに早期は自覚症状がありませんが、この段階で発見し治療することができれば高い確率で治る病気です。不安感や先入観から受診を躊躇されている方も、一度医療機関にご相談いただいて不安を取り除いたうえで、ぜひ検査を受けていただきたいと思います。

※3 50歳以上の方は、2年に1回、胃内視鏡検査か胃部X線検査のどちらかを選択できます。ただし、当分の間は、40歳代以上の方には年1回胃部X線検査を行う場合もあります。詳しくは、お住まいの市区町村のがん検診担当窓口、または職場の健康管理窓口へお問い合わせください。

**●アンケートの実施概要**

対象： 全国20歳以上の男女

方法： インターネット調査

「おなかの健康ドットコム（http://www.onaka-kenko.com/）」上の特設ページで実施

期間： 2016年2月10日から3月23日まで

回答者数： 25,177名（男性：11,833名、女性：13,344名）

設問数： 全16問







**「7月14日は内視鏡の日」**

**上部内視鏡検査の様子（イメージ）**

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。